



農作業安全パトロール

スピードスプレーヤー 挟まれ編

VR

疑似体験

農作業事故さ

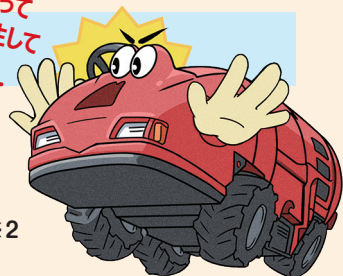
！ 農作業事故はどのくらい起きているの？

農作業事故は年間 **約7万件**、1日あたり **約200件** 発生しています！※1

農業従事者10万人あたりの死亡事故者数は建設業の **約2倍** となっています！！※2

※1 共済金支払データに基づきJA共済連にて推計 ※2 農林水産省調べ

農作業事故って
こんなに発生して
いるんだね！



！ スピードスプレーヤーではどのような事故が起きているの？

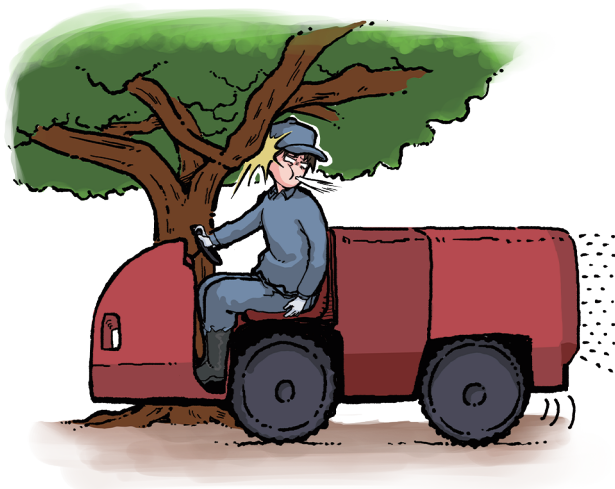
運転中の転倒・転落や**スピードスプレーヤーと枝に挟まれる事故**が多く発

生しています。特に**5～8月**に多発しています。

※共済金支払データに基づくJA共済連調べ

！ 事故事例1:前進時の挟まれ事故

薬剤が散布されているか後方を確認しながら走行していたところ、前方にあった果樹の枝と機体に挟まれ、脱出できない状態が続き、窒息により死亡してしまいました。



事故の要因

環 環境要因 物 物要因 人 人要因

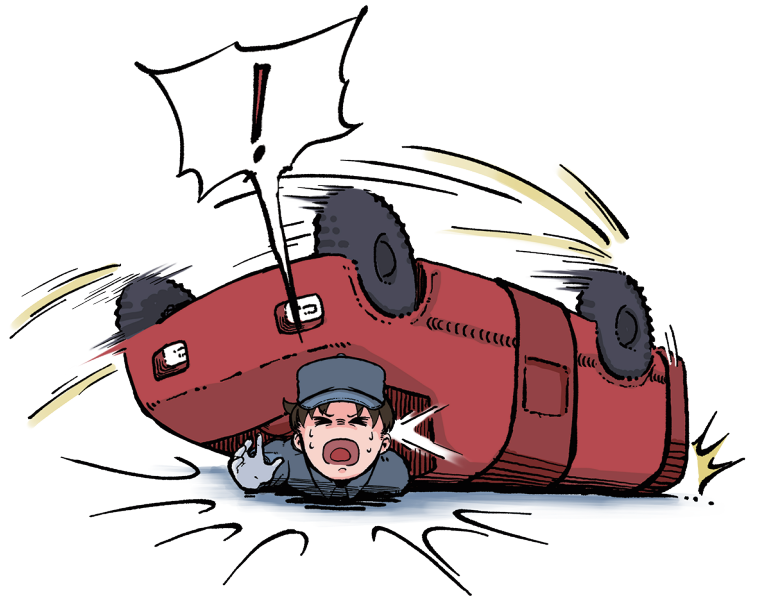
- 環** スピードスプレーヤーでの農薬散布は長年行っていて慣れていたため、低い枝や幹に対して目印をつける、事前に枝を切っておく等の対策はしていませんでした。
- 人** 農薬がきちんと散布されているか後方を確認しながら走行しており、脇見運転となっていました。

対策

- ① 枝の成長や果樹の重さにより、枝が前回作業時よりも下がってしまう等、ほ場では作業環境が一定ではないため、作業する経路はあらかじめ確認し、可能な限り安全な作業ルートを設定するようにしましょう。
- ② 低い枝や幹、支柱などの障害物にはあらかじめ目印を付けておきましょう。
- ③ 走行時は後方や側方の散布状態に気をとられず前方に注意するようにしましょう。

！ 事故事例2: 運転中の転倒事故

傾斜が大きい果樹園内の通路を移動中に、急カーブで曲がり切れず機体が転倒し、機体の下敷きとなり死亡してしまいました。



事故の要因

環 環境要因 物 物要因 人 人要因

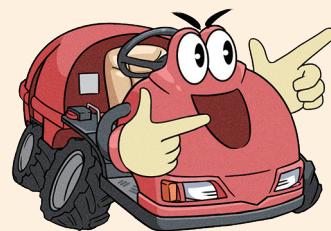
- 物** タンク内部には薬液の揺れ止め装置がないため、スピードの出しすぎや急ブレーキ・急旋回した場合に、タンク内の薬液の揺れで機体のバランスを崩し、転倒・転落につながる可能性があります。
- 人** 作業後に予定が入っていたため、早く作業を終えようと急カーブの前に十分な減速をしていませんでした。

対策

- ① 前方を注意し、カーブの手前では十分に減速するようにしましょう。
- ② 下り坂やスピードが出た状態では急ハンドルを切らないようにしましょう。

よくある事故シーンを動画で紹介!

農作業事故を再現した
「スピードプレーヤー 挟まれ編 (VR動画)」
はこちら!
事故の要因や対策が学べます!!



動画で農作業事故を
疑似体験できるよ!



※こちらのチラシおよび動画などのコンテンツは、自由にご活用ください(非商用に限ります)。



農業のために 地域のために 明日のために

JA 共済の地域貢献活動